

【NEWS RELEASE】

2021年3月31日

各位

株式会社三井住友銀行

株式会社J E C Cに「SDG s 推進シンジケーション」を実施

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：高島 誠）は、株式会社 J E C C（取締役社長：桑田 始）に「SDG s 推進シンジケーション」を実施いたしました。

「SDG s 推進シンジケーション」は、シンジケートローン実行時に、株式会社三井住友銀行と株式会社日本総合研究所（代表取締役社長：谷崎 勝教）が、企業のSDG s（※）に関する現状の取組状況を確認した上で、本業を通じたSDG s 貢献への道すじ（ロジック）を分析し、SDG s の取組推進に向けたアドバイス等をご提供する商品です。

今回対象となりました、株式会社 J E C C については、以下に記す事業を通じて、SDG s の目標達成に向けた貢献が期待できると判断されました。

- ① リース満了物件のIT機器等の3Rの推進、リース事業を通じた資源循環型・低炭素型社会形成への貢献

目標 12 つくる責任 つかう責任	12.2 2030年までに天然資源の持続可能な管理および効率的な利用を達成する。 12.5 2030年までに、廃棄物の発生防止、削減、再生利用および再利用により、廃棄物の発生を大幅に削減する。
-------------------------	---

- ② 小・中・高等学校向けのコンピュータ賃貸事業を通じた、子どもの教育格差是正への貢献

目標 4 質の高い教育を みんなに	4.a 子供、障害およびジェンダーに配慮した教育施設を構築・改良し、全ての人々に安全で非暴力的、包摂的、効果的な学習環境を提供できるようにする。
-------------------------	--

- ③ 水道事業者の経営改善に資するデータ流通基盤プラットフォームの提供

目標 6 安全な水とトイレ を世界中に	6.2 2030年までに、全ての人々の、適切かつ平等な下水施設・衛生施設へのアクセスを達成し、野外での排泄をなくす。女性および女兒、並びに脆弱な立場にある人々のニーズに特に注意を払う。
---------------------------	--

三井住友銀行では、「SDG s 推進シンジケーション」により、本業を通じ、SDG s が達成される社会の実現に貢献をしております。

<ご参考>

※ SDG s とは

Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）の略称。国連総会で採択された、新興国だけでなく先進国等あらゆる国と地域が、貧困や平等、教育、環境等、「誰も取り残されない世界」の実現を2030年までに目指す17の目標と169のターゲットのことです。

以 上

このニュースリリースは、投資や勧誘を推奨することを目的としたものではありません。
--